

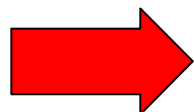
## H 2 2 年度の入札執行方法の変更点について

- 1 地域要件の拡大
- 2 入札保証金の適用範囲を拡大
- 3 電子入札の範囲拡大
- 4 道路標識・区画線(ライン)等の発注について

公共工事契約課

5千万円以上1.5億円未満の土木工事は、  
Aランク(A1グループ含む)による

管内一括



県内一括

土木Aランクは全て県内一括発注に



# H 2 2 年度の入札執行方法について

## <土木>

H20・H21



H22・H23

設計金額	参加資格等	参加資格等	
23億円以上	WTO	現行どおり	総合評価落札方式・低入札価格調査制度
23億円未満 7億円以上	一般 (JV) 2~4者 県内A1 県内営業所 県内一括 ※JV構成員比率 県内50%以上	現行どおり	
7億円未満 3億円以上	一般 (JV) 2~3者 県内A1 県内一括	現行どおり	
3億円未満 1.5億円以上	一般 (混合入札) 単体 or JV(2者) 県内A1 県内一括	現行どおり	
1.5億円未満 1億円以上	一般	一般	
1億円未満 5千万円以上	管内A1及びA 管内一括	県内A1及びA 県内一括	最低制限価格制度
5千万円未満 2千万円以上	一般 管内B 管内一括	現行どおり	
2千万円未満 8百万円以上	一般 管内C 管内一括	現行どおり	
8百万円未満	指名 管内D~E 15者以上	現行どおり	

## 2 入札保証金の適用範囲を拡大

- 予定価格7億円以上の建設工事に、入札保証金の納付を原則とするとともに、**入札ボンド制度**を適用（これまでは、WTO対象のみ）

### 【入札ボンドとは】

入札参加者に対して、金融機関等による審査・与信を経て発行される保証の予約的機能を有する証書を求める制度

対象工事については、入札ボンドの提出があれば入札保証金（現金）の納付を求めない。

- 現在実施していない、宇陀・吉野・五條土木管内の土木Cランクに導入  
導入時期は、平成22年10月1日公告から

電子入札導入説明会を開催

日時：平成22年7月15日（木） 13:30～

場所：かしはら万葉ホール

## 4 道路標識、区画線(ライン)・道路 標示の発注について

建設工事の種類に対応する業種は建設業法において定められており、国交省は、その業種に対応する建設工事を次のように例示

道路付属物設置工事:「とび・土工・コンクリート工事」  
路面標示工事 :「塗装工事」

国交省が示す建設工事の内容・例示に対応した工種で「交通安全施設」の資格を有することを条件。発注基準は下記のとおりとし、**平成22年6月14日以降**の公告及び指名通知から適用する。

### － 1 千万円以上－

- 一般競争入札(総合評価落札方式)
- 経審点600点以上
- 県内一括(県内本店・県内営業所)

### － 1 千万未満－

- 指名競争入札(15者以上)
- 北部・南部
- 県内本店